



宮城県業務説明会

薬剤師

Miyagi
Prefectural
Government

薬剤師の仕事

食品取扱施設等の監視、廃棄物適正処理、公害規制、薬局・医薬品販売業等の許認可、麻薬・覚醒剤等の指導、環境政策の企画立案 等

配属先

本庁各課（環境生活部、薬務課、原子力安全対策課、消防課）

地方機関（保健環境センター、保健所、環境放射線監視センター、水道事務所等）

※上記以外にも、人事交流やチャレンジ人事制度で、様々な部局に所属している職員がいます。

自己紹介

宮城県仙台市出身

H29.3月 **県外大学卒業**

H29.5月～ **環境生活部 保健環境センター 大気環境部**
有害大気汚染物質モニタリング、大気汚染常時監視、酸性雨調査、ばい煙の検査など

R2.4月～ **保健福祉部 薬務課 監視麻薬班**
医薬品販売業の監視指導、認定薬局整備事業、骨髄・臓器移植普及啓発事業など

R5.4月～ **環境生活部 環境対策課 大気環境班**
大気汚染常時監視、国設大気環境測定局管理、悪臭防止対策など

R7.4月～ **環境生活部 環境生活総務課 企画調整班**
各種部内調整（要望・広報）、部局研修（人財育成）など

R8.4月～ **環境生活部 環境生活総務課 企画調整第一班**
部局研修（人財育成）、産廃税など

志望動機

なぜ公務員だった？

- 専門性を活かしつつ、多岐にわたる分野で県民のために貢献できると思ったから。
- 学生時代に東日本大震災を経験したが何もできなくて悔しかった。平常時だけでなく、有事の際に最前線に立つのは公務員だと思い志望した。

なんで宮城県庁を選んだ？

- 大学時代、6年間宮城県を離れたことで、あらためて宮城の魅力に気付いた。
- 災害の多い県ではあるが、県職員として地元貢献したいと思った。

担当した仕事

保健環境センター大気環境部

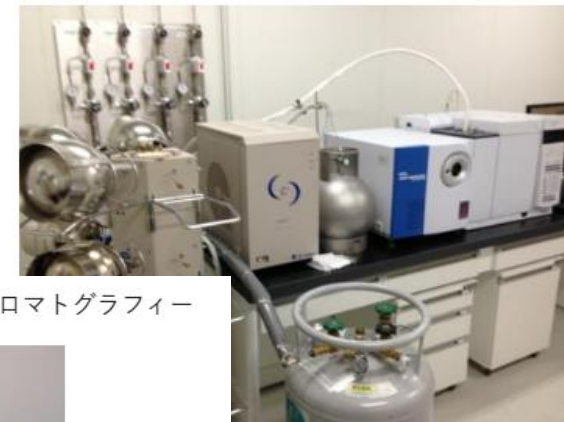
騒音・振動、悪臭、大気環境全般の監視、測定、調査及び研究

担当業務

- ・ 有害大気汚染物質の分析
- ・ 酸性雨の分析
- ・ PM2.5の成分分析

試料採取→分析→データ解析の日々でした。
私たちの分析結果が、事業者さんへの**指導根拠**になることもあるので、正確な分析が求められました。

VOC類の分析（キャニスター GC/MS）



イオン成分を分析するイオンクロマトグラフィー



PM2.5の成分分析用採取装置



担当した仕事

保健福祉部薬務課 監視麻薬班

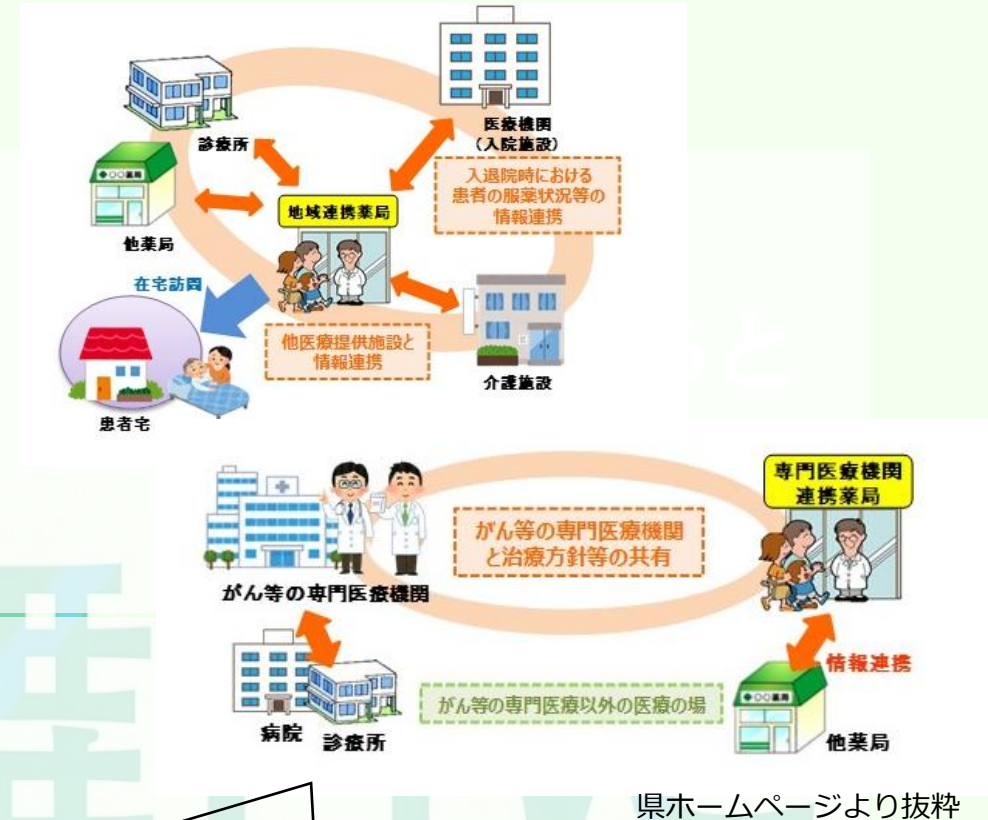
医薬品販売業の許認可、認定薬局、麻薬取扱い施設の指導、麻薬免許、登録販売者試験等

担当業務



- 仙台市内の卸売販売業者への立入検査
- 認定薬局の認定・啓発
- 麻薬の廃棄立会業務
- 骨髄バンク・臓器移植意思表示啓発

※この他、新型コロナウイルスの経口治療薬の分配に関する業務も担当していました。



- ・在籍中に、新しい薬局の制度が開始
- ・制度がスムーズに導入されるよう、県内薬局向けの研修や介護部門への周知等を行いました

担当した仕事

環境生活部環境対策課大気環境班

大気汚染常時監視、有害大気汚染物質の調査、
悪臭規制、騒音振動、アスベスト、工場規制等

担当業務

- 県大気環境測定所の維持管理（改修工事発注・契約・備品発注）
- 大気汚染常時監視システムの発注・契約

・工事の発注を経験し、「建設業法」や「建築士法」、公共工事の基本を学び、とても勉強になりました。
・限られた財源を有効活用するため、既存の業務の見直しも積極的に行いました。



大気汚染測定所

測定局	県	国	合計
一般環境大気測定局	15	1	16
自動車排ガス測定局	3		3
合計	18	1	19



県ホームページより抜粋



いま、担当している仕事

環境生活部環境生活総務課企画調整第一班

議会对応、予算、みやぎ環境税、産業廃棄物税、部局研修



担当業務

○部局研修（部内職員に向けた研修の企画・運営）

○産業廃棄物税の適正管理

※年4回の「県議会」開催時は、各種調整のため班員総出で対応します。

- ・環境生活部に配属された新規採用職員研修の様子です。
- ・企画立案、講師選定、資料準備、当日の運営等タスクはたくさんありますが、調整力・企画力が身に付く仕事です。

大変だったこと

- ・既存の手法を見直し、より効率的な手法への転換、その過程で一部業務の廃止
- ・業務の支障となっていた内規の改正／廃止

◆新規の取組を始めるとき／既存の業務をやめるときの調整

- ・しっかりと根拠／理由を示さないと企画は通らない
- ・メリット／デメリット、費用対効果
- ・関係課への事前の根回し、早めの情報提供
- ・イレギュラー発生時用にバックアップ案を複数用意

- ・タイトな照会
- ・どの部局が対応するか不明
- ・時勢に応じた突発的業務（担当課を超えて対応）

◆タイトスケジュールの中での対応

- ・突発的な業務を、複数課調整の上、短工期で処理しなければならない
- ・優先的に実施する項目を選定
- ・更なるオーダーに備えた、自主的な情報収集（他県は？他部局の状況は？）
- ・難しい調整時には、対面で交渉

やりがい、心掛けていること

・自分の提案が事業に反映

一つの区切りとして達成感を感じ、このような積み重ねが、やりがいに繋がっています。

・薬剤師としての専門性を発揮したとき

医薬品医療機器等法を正確に理解し、事業者さんに情報提供をすることで、違反の未然防止、違反状態の早期発見／早期改善をすることができたとき、またそれに伴い、事業者さんに感謝の言葉をいただけたとき

・わかったふりをしない

1つ1つ地道に調べたり、質問したりして解決するように心がけています

・報連相はこまめに

仕事はチームです。重要な情報が入った段階で、所属内でまず共有、その後、詳細が分かり次第追加で説明することを心がけています。

働き方・休み方

- 9：00出勤で地下鉄の混雑を緩和
- 1時間単位の年次有給休暇を適宜取得し、役所の手続きや通院に効率的に活用
- 担当業務に区切りがついたら、土日と繋げて1日フルで取得し、心身ともにリフレッシュ
- 夏季休暇は1日単位で取得可能のため、ピーク時期を避けて県外旅行することも



1時間年休をとって平日野球観戦も。
プレイボールに間に合います◎

入庁前のイメージとギャップ

◆ 入庁前のイメージ

- 本庁では来客対応がなさそう
- 技術系職員は技術に特化した仕事だけしていそう

◆ 入庁してみたら…

- 企業・団体・一般県民からの相談・申請等思ったより来客対応が多い
- 事務的な仕事（契約事務・文書事務・予算関係・各種調整）が結構多い。それが主たる業務の技術系職員もいる。

職場の雰囲気

◆頼れる上司、同僚が多く相談しやすい

- 挑戦や新規の提案を後押ししてくれます。
- また、組織としてその提案を却下する際は、その合理的な理由もしっかり説明してくれます。
- 実体験を通して「組織としてどうしてダメか？」を学ぶことは、法令遵守が基本の公務員にとって非常に勉強になります。

◆デジタル化が進んでいる

- 電子ファイルでの文書回覧は当たり前。モニターを使ってペーパーレス会議。
- オンライン会議、オンライン研修等も日常になっています。
- 生成AIを積極的に活用し、ルーチン業務の効率化を図る職員もいます。

働いて感じる宮城県職員の魅力

◆ジョブローテーション

若手職員は概ね3年に1回人事異動があり、多様な所属（本庁・地方機関）で様々な仕事を経験することができます。あらゆる分野に触れることで、自分の知識・経験の幅を広げ、常に新鮮な気持ちで業務に挑むことができます。

◆ちょうどいい都市感と田舎感を有し、薬剤師の業務の幅が広い

- 企業誘致により、様々な企業が進出→公害の防止（大気汚染、水質汚濁）
- 豊かな山・海を有し、食材の宝庫→食の安全・安心確保（カキ、きのこ）
- 温泉施設多数→定期的な監視業務（レジオネラ）
- 女川原子力発電所→発電所の監視、原発事故発災想定訓練

私の公務員試験対策

◆小論文対策

過去数年分の小論文テーマで練習しました。

◆面接対策

- 新聞を読む（時事に詳しくしておく）
- 県政だよりを読む（県内の状況を把握）
- その他、就活で一般的に聞かれそうなことを自己分析しました。

みなさんへのメッセージ

- ◆ 薬剤師が関わる仕事は、専門性が高いということもあり、一見、地味で目立たない仕事と思われるかもしれません。
- ◆ きれいな空気、おいしい水、安心して食べられるごはん、ごみが街にあふれることもない、薬局ではきちんとお薬をもらえ、気軽に温泉にも入れる、そんな日常の一端を支えているのが、県職員の薬剤師だと考えています。
- ◆ 共に働く職員は、薬剤師だけではなく、行政職、他の技術職（土木、林業、水産、農業等）もいて、様々なバックグラウンド・考え方・知識・経験に触れることで、非常に成長できる環境にあると感じています。
- ◆ 病院・薬局、企業、公務員、大学院進学、その他で迷われている時期かと思いますが、少しでも公務員としての薬剤師に魅力を感じていただけたら嬉しいです。